令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和5年3月31日時点)

施設名	港区立たかはま保育園						
指定管理者	株式会社日本保育サービス						
指定期間	平成 30 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規		非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	非常勤		
職員数	41	40	1	4	1	3	45
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
正規・非正規職員の退職者数		4	2	1	7	6	

3 指定期間における事業実績

事業実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
施設利用者数(月極)(人)	36,311	36,171	32,324	34,505	32,786	
施設利用者数(一時・緊急)(人)	1258	781	542	483	488	

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
経費実績	収入	267,863,383	269,374,543	268,587,846	293,728,465	295,902,357
	指定管理料(清算後)	267,863,383	269,374,543	268,587,846	293,728,465	295,902,357
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	支出	251,044,635	270,016,032	266,353,854	291,927,051	293,819,376
	職員人件費	186,560,685	184,969,783	189,452,826	201,919,003	210,301,663
	光熱水費	5,175,489	5,135,766	4,811,313	5,439,399	6,490,320
	修繕費	3,469,392	5,193,824	4,320,690	3,532,670	4,868,124
	事業運営費	31,417,549	31,733,672	30,256,309	29,508,774	27,668,439
	施設管理経費	10,170,281	10,670,929	10,995,739	10,567,464	11,490,830
	その他経費	14,251,239	32,312,058	26,516,977	40,959,741	33,000,000
差引収支額	16,818,748	-641,489	2,233,992	1,801,414	2,082,981	
年度協定書で定める指定管理料	278,640,923	284,137,522	286,395,399	298,131,587	299,992,357	

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	3 / 5	×	3 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者へ声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	3 / 5	×	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	×	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	3 / 5	×	9 / 15
区による評価合計点				82 / 100	

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
- 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
- 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
- ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	前回の第三者評価の際に、園で取り組んでいることに対して保護者への発信力が弱いので改善していくと良いと言う評価を受けて、保護者の方におこさまたちの日頃の様子を知っていただくため、コロナ禍ではあったものの参加人数や環境に配慮し年3回『親子で遊ぼう会』の親子行事を開催した。日頃行っている保育を知っていただく良い機会となり、保護者の方からも好評をいただいた。また小学校の校長先生より港南地域のこどもたちの運動能力が年々下がってきていると言うお話があり、職員間で話し合い、こどもたちの運動能力向上を目的として、『運動Day』の日を計画し全学年で運動の取り組みを行った。こどもたちの運動面の成長・発達につながった。今後の改善点としては、アクシデントの数が多いため、減らしていき安心・安全と誇れる施設にしていきたい。検討会議などすぐに行って再発防止策などたてているものの、同じようなアクシデントが繰り返されているため、危険予知訓練等研修で取り入れ、職員の安全に対する意識を高める必要があると考える。
区（施設所管課）による評価	当指定管理者は、基本協定や事業計画書等に基づき適切な事業運営を行っており、指定管理者による自己評価と区の評価に相違はありません。地域の子供たちの運動能力低下の懸念について、職員間で意見を出し合い、小学校と連携し取り組むなど、課題の把握やその対応を行うことでサービスの向上を図りました。今後も、社会状況や利用者ニーズに沿ったサービスを積極的に提案、実施することを期待します。また、安全管理・危機管理については、園内の設備や設置物、器具に関して常に気を配り、少しでも違和感を感じた場合は迅速に対応しています。今後も事故件数ゼロを目標に、物理的な要因以外の原因究明や再発防止策を検討し、職員間で共有する必要があります。

6 評価

令和4年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）